



創業100周年を迎えた2025年は全現場での完全週休2日に挑戦し、個人ベースの実施率100%を達成した。今後は合材工場の土日閉所を目指す。さらに「働きやす

## 前田道路 今泉 保彦社長

### 合材工場の土日閉所を目指す

さ・魅力ナンバーワン企業を追求し、次の100年に向け

組織の一体感を高めていく。工事部門では、引き続き受注規律を徹底し、一つ一つの仕事の質を高める。顧客の信頼を積み重ね、適正な対価として利益を確保していく。舗装の新設工事は減少が見込まれるものの、持続的なメンテナンス需要があり、工事が大きく落ち込むことはない

とみている。製品販売部門は、全体の出荷量が減少する一方、製造・輸送コストが高騰するなど厳しい事業環境にある。道路舗装業界全体でJVによる工場の共同運営や統廃合が加速するとみている。

インフラ・ホールディングス(HD)は三井住友建設グループを迎え入れた。三井住建道路と協議は行っていないが、施工体制の連携や工

場運営の効率化など、さまざまな分野でシナジー(相乗効果)が発揮できる可能性は十分あるとみている。インフラHDが更新した中期経営計画達成に向け、親和性を重視したM&A(企業合併・買収)も視野に入れる。

コンセッション(公共施設等運営権)事業は、地方管理道路の包括管理業務の実績やノウハウを積み上げたい。海外事業は、工事業よりも製品販売事業を拡大していく。

